

漁港における激甚化する台風・低気圧対策(宮崎県川南町)

効果概要:「漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化等の対策」に沿った、地域の拠点的漁港における主要施設の安全性確保対策を実施。川南漁港では、北防波護岸や防波堤の整備により、台風時の越波が軽減でき、港内への波浪進入が抑えられている。令和4年台風14号が来襲した時は、対策の効果で、漁船避難係留時の港内の静穏性が向上し、漁船被害が大幅に軽減した。

府省庁名: 農林水産省

■ 実施主体: 宮崎県

■ 対策の概要:

災害発生時における漁港背後地の被害を軽減するため、防波堤・岸壁の耐震・耐津波化、越波対策、浸水対策を実施

北防波護岸(改良)159m、防波堤(新設)140m

■ 事業費: 全体事業費25億円

(うち5か年加速化対策 事業費5億円)

■ その他:

防波堤・岸壁の耐震・耐津波化により、緊急物資供給拠点として、災害時であっても緊急物資の受入等を円滑に行うことが可能となる。

● 令和4年台風14号では漁船被害が大幅に軽減

平成30年台風24号(最大瞬間風速37.9m/s)
漁船被害11隻



越波による浸水(平成23年台風12号)



港内へ高波の進入

対策後



北防波護岸(改良、かさ上げ)



防波堤(新設、粘り強い化)

令和4年台風14号(最大瞬間風速36.8m/s)
漁船被害2隻(小型船)